



生野区内小学校跡地の

いくのコーライブスパーク(もと御幸森小学校)

いくのコーライブ
パークについて
くわしくはこちら▶



イベントについて
くわしくはこちら▶



生野区を「誰もが暮らしやすいNo.1のグローバルタウン」へ



いくのパークは、株式会社RETOWNとNPO法人IKUNO・多文化ふらっとが共同運営する多文化共生拠点。

気軽に立ち寄れるイタリアンレストラン・カフェ併設のセレクトショップなど地域の方々の日常に寄り添う店舗や、学習支援・スポーツ・福祉など多彩なテナントが集まる、国籍や世代を問わず誰もが訪れやすい開かれた場所です。



多文化ふらっとでは、外国ルーツの子どもたちへの学習支援や多言語相談事業、市民農園や図書室運営など、生活に寄り添った包括的な支援を展開。

定期開催の「いくの万国夜市」では、多様な文化的背景を持つ人々が食を通じて出会い、異文化への関心と相互理解を育みながら、まち全体のにぎわいと共生意識の醸成につなげています。学校跡地という「地域の記憶」を大切にしながら、これからも地域の皆さまとともに、生野区の魅力を育む拠点として歩み続けます。



クワッサンサーカス&いくの万国夜市

8月の万国夜市は、初となる9日間のロングラン開催！

子どもから大人まで楽しめる、生野ならではの夜市へぜひ遊びに来てください。

とき 8月7日(金)～16日(日) ※10日(月)は休演

・夜市…16:00～21:30(L.O. 21:00)

・サーカス公演…

16:30～17:30(8/9、13～16のみ)

18:30～19:30(全日)

※8/8は生野区民無料招待のみとなります。

くわしくは12面に掲載しています。

ところ いくのパーク(旧御幸森小学校)グラウンド

内容 ・ナイトサーカス公演(9日間 全14公演)

※鑑賞は有料となります。

・地域飲食店等による屋台出店

・ステージ(ライブ・パフォーマンス・盆踊りなど)

活用事業者からのメッセージ

御幸森小学校の跡地を、地域の皆さまが安心して利用できる場となるよう努めています。

多様なテナントの皆さまと日々対話を重ね、清掃や施設管理も施設全体で協力しながら、より良い運営方法を一緒に探っています。地域団体の活動や子どもたちの遊び、夜市やサーカスなど、多様な使われ方が広がる中で、これからもより開かれた拠点づくりを目指して進めていきます。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

御幸森まちづくり協議会理事長からのひとこと

いくのパークの活用後、地域との連携がうまくいかないところもありましたが、少しずつながら良くなっていると思います。

地域としても協力を惜しまないので、今後より一層、地域に開かれた場所、地域の安心につながるような場所を目指し、いくのパークを盛り上げてほしいと思います。

東朋学園高等学校(もと生野南小学校)

HPはこちら▶



本校は2020年開校の大阪府認可の通信制高校です。2026年4月に天王寺区から、「もと生野南小学校」へ移転し、新天地でスタートすることとなりました。グラウンドや体育館、特別教室を備えた環境は通信制高校では珍しく、緑あふれる広い校庭を有した環境の中でのびのびと学習することができています。本校には、不登校を経験した生徒も多く在籍しています。週1日・週2日・週3日の中から自分のペースに合わせて学べる環境が整っています。

新校舎は緑あふれる広い校庭を有した明るい雰囲気、より一層のびのびと落ち着いた環境で学ぶことができています。生徒たちも本校での学校生活を通して、自分も周りの人も尊重できる人間へと成長していったらいいと願っております。

約3年間この地で運営した大阪自動車整備専門学校に引き続き、地域、行政と連携した防災活動や、地域活動への積極的な協力を継続するとともに、今後は、地域コミュニティの場として、学びの機会として地域の皆様とともに歩み、地域の皆様に愛される東朋学園をめざしてまいります。



活用事業者からのメッセージ

新校舎では、通信制高校では珍しいグラウンドや体育館、特別教室などの学校らしい校舎を備えており、生徒たちは広い環境の中でのびのびと学んでいます。一人ひとりのペースや気持ちに寄り添いながら、安心して通える学校づくりを大切にしています。

地域の皆様と学校関係者の交流も重ねながら、生徒一人ひとりが安心して実りある高校生活を送れるようサポートしています。

生野南ふれあい協議会理事長からのひとこと

活用から3年。お花見会やなかよし運動会、敬老会、スリーアイズ大会など、生野南の地域行事を続けられたことに感謝します。大阪自動車整備専門学校の校長先生も積極的に参加くださり、心強く感じていました。

今年4月から東朋学園高等学校になりましたが、この場所が避難所としても集いの場としても身近で安心できる存在であり続けることを期待しています。

